

2-4 2022年度実施 博士前期課程修了生アンケート【GCC】

- ・対象者：2019年度修了生（3年目）、2017年度修了生(5年目)
- ・実施期間：2023年1月23日～2023年2月22日

集計日 2023/2/24

	計	女性	男性
アンケート対象者	262	180	82
メールアドレス不明者	86	53	33
回答依頼メール送信者	176	127	49
<b>回答数</b>	<b>22</b>	<b>18</b>	<b>4</b>
回答率	13%	14%	8%

履修コース別回答数	計	女性	男性
<b>言語文化専攻（旧カリ）</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
文学・文化科学研究コース	1	1	0
<b>地域・国際専攻（旧カリ）</b>			
国際社会研究コース	1	0	1
<b>世界言語社会専攻</b>	<b>14</b>	<b>12</b>	<b>2</b>
言語文化コース	6	6	0
国際社会コース	6	5	1
PCSコース	2	1	1
<b>国際日本専攻</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
国際日本コース	5	4	1
日本語教育リカレントコース	1	1	0
<b>総計</b>	<b>22</b>	<b>18</b>	<b>4</b>

現在の状況について、次から選択してください。

- (1) 教育研究機関で勤務           5人
- (2) 教育研究機関以外で勤務   14人
- (3) 就職活動中                   0人
- (4) 進学                           2人
- (5) 回答したくない               1人
- (6) その他                         0人

本学大学院に進学した目的・理由を記入してください。(自由記述)

- ・省略

**本学大学院で自身の目的・計画はどの程度達成されましたか、次から選択してください。**

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| (1) 達成できた       | 2人  |
| (2) ほぼ達成できた     | 15人 |
| (3) あまり達成できなかった | 5人  |
| (4) 全く達成できなかった  | 0人  |
| (5) 不明          | 0人  |

**本学博士前期課程で修得できたことを次から選択してください。(複数回答)**

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 学問分野の枠にとらわれない知識・思考            | 12人 (54.5%) |
| (2) 様々な課題に対応できる総合力                | 13人 (59.1%) |
| (3) 独創的な思考で課題に取り組む能力              | 6人 (27.3%)  |
| (4) 課題解決に必要な情報・資料を的確に収集し、分析する能力   | 16人 (72.7%) |
| (5) 明確な論理展開、わかりやすい表現を備えた文章を執筆する能力 | 11人 (50%)   |
| (6) その他                           | 0人          |

**本学博士前期課程に不足していると感じたことを次から選択してください。(複数回答)**

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) 学問分野の枠にとらわれない知識・思考            | 5人 (22.7%)  |
| (2) 様々な課題に対応できる総合力                | 6人 (27.3%)  |
| (3) 独創的な思考で課題に取り組む能力              | 10人 (45.5%) |
| (4) 課題解決に必要な情報・資料を的確に収集し、分析する能力   | 3人 (13.6%)  |
| (5) 明確な論理展開、わかりやすい表現を備えた文章を執筆する能力 | 6人 (27.3%)  |
| (6) その他                           | 2人 (9.1%)   |

その他の回答

- ・省略

**現在所属している機関の種別について、次から選択してください。**

- |            |     |
|------------|-----|
| (1) 教育研究機関 | 6人  |
| (2) 一般企業   | 13人 |
| (3) 公務員    | 0人  |
| (4) 自営業    | 0人  |
| (5) 所属なし   | 2人  |
| (6) その他    | 1人  |

**現在所属している機関の名称を教えてください。(自由記述)**

- ・省略

**現在の身分について、次から選択してください。**

- (1) 学生（修士） 2人
- (2) 学生（博士） 1人
- (3) 常勤（無期雇用） 15人
- (4) 常勤（有期雇用） 3人
- (5) 非常勤雇用 0人
- (6) その他 1人

**現在の職位について教えてください。（就職した方のみ、自由記述）**

・省略

**将来的に研究者になることを希望していますか。**

- (1) 既に研究者としての職を得ており、継続する予定 0人
- (2) 既に研究者としての職を得ているが、将来的には企業での勤務を希望 0人
- (3) 現在は研究者ではないが、将来は研究者となることを希望 8人
- (4) 現在は研究者ではなく、今後も研究者となることは希望しない 11人
- (5) その他 3人

その他の回答

・省略

**ご自身のキャリアを形成するうえで役立ったと考える学びはなんですか。（複数回答）**

- (1) 世界の諸地域の言語・文化に関する学び（特定の言語・地域に関する学び） 9人（40.9%）
- (2) 世界の諸地域の言語・文化に関する学び（特定の言語・地域に捉われない学び） 9人（40.9%）
- (3) 世界の諸地域に歴史・地域に関する学び 5人（22.7%）
- (4) 現代世界のアクチュアルな諸問題に関する学び 5人（22.7%）
- (5) 国際的な政治、社会、経済に関する学び 8人（36.4%）
- (6) 国際的なリーダーを目指すための英語による学び 1人（4.5%）
- (7) 現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などの日本語学に関する学び 5人（22.7%）
- (8) 日本語教育の理論と実践に関する日本語教育に関する学び 6人（27.3%）
- (9) 古典文学、近現代文学、文化研究など、日本語文学・文化に関する学び 2人（9.1%）
- (10) 日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史など日本社会に関する学び 3人（13.6%）

**キャリアを形成するにあたり、本学が今後充実すべきと考える学びはなんだと思いますか。**

**(複数回答)**

(1) 世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に関する学び) 5人  
(22.7%)

(2) 世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に捉われない学び) 7人  
(31.8%)

(3) 世界の諸地域に歴史・地域に関する学び 3人(13.6%)

(4) 現代世界のアクチュアルな諸問題に関する学び 7人(31.8%)

(5) 国際的な政治、社会、経済に関する学び 8人(36.4%)

(6) 国際的なリーダーを目指すための英語による学び 9人(40.9%)

(7) 現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などの日本語学に関する学び 2人  
(9.1%)

(8) 日本語教育の理論と実践に関する日本語教育に関する学び 3人(13.6%)

(9) 古典文学、近現代文学、文化研究など、日本語文学・文化に関する学び 2人(9.1%)

(10) 日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史など日本社会に関する学び 2人(9.1%)

(11) その他 2人(9.1%)

その他の回答

・省略